

6月22日 全校朝会のお話

今日は2つお話をします。

1つ目のお話です。テレビなどで見た人もいると思いますが、先週の金曜日に東京都北区の小学校で大きな火災が起きました。小学校から黒い煙が上がっている映像を見て、驚いたり、不安に思ったりした人もいると思います。春日小学校でも、学校で火事起きないように施設の点検をしたり、危険な活動や場所がないかを確認したりしていますので、まずは心配しないでください。

しかし、絶対に火事起きないとは言えません。そのために、毎月、避難訓練をしています。テレビで避難した子供たちのインタビューを見ました。ある子供は「お・は・し・もの約束を守って、無事に避難することができました。」と話していました。避難訓練で学んだことを上手に生かすことができたようです。これからも避難訓練には真剣に取り組んでいきましょう。

2点目のお話です。東京都の小学校、中学校では、6月と11月をふれあい月間として、いじめや暴力をみんなでなくしていこうという取組をしています。それぞれのクラスで「生活アンケート」に答えてもらっているのも、その取組の1つです。

ところで、皆さんは、ふだん周りのお友達にどんな言葉を使っていますか？

担任の先生から聞いたことがある人もいると思いますが、言葉には「ちくちく言葉」と「ふわふわ言葉」があります。

「ちくちく言葉」は、「あっち行って」「下手くそ」「変なの」といった、言われた人の心がチクッと痛む言葉です。この言葉が増えると、学校は悲しい場所になってしまいます。

「ふわふわ言葉」は、「ありがとう」「大丈夫？」「いっしょに遊ぼう」といった、言われた人の心が温かく、ふわふわ嬉しくなる言葉です。この言葉が増えると、学校はみんなの笑顔であふれます。

ぜひ、「ふわふわ言葉」をたくさん使って、みんなでいいクラス、いい学年にしていってください。こんな「ふわふわ言葉」があるよ、と思いついた人はぜひ周りにいる先生たちに教えてください。

校長先生のお話を終わります。

